

テーマ展 特定のテーマに基づいて収蔵品を中心に紹介する
小～中規模の展示です。常設展観覧料でご覧になれます。

ふるさとの考古資料7 【榎葉町歴史資料館】移動展

(開催中)～5月20日(日) 場所:常設展部門展示室・考古
国指定文化財「磐城榎葉天神原遺跡出土品」(弥生時代)など、双葉郡を代表する考古資料が出土した榎葉町。現在休館中の町歴史資料館所蔵の考古資料から、ふるさとの歴史を振り返ります。

友の会化石・鉱物探検隊成果展 ※観覧無料

7月10日(火)～8月19日(日) 場所:エントランスホール
平成30年は福島県立博物館友の会のサークル「化石・鉱物探検隊」の発足から20年目、第1回成果展の開催から10年目の節目にあたります。過去10年間の採集物を一堂に展示し会の活動の成果を広く公開します。

祈りのふくしま2

4月28日(土)～7月8日(日) 場所:常設展部門展示室・歴史美術
福島、特に会津地方は早くから仏教文化が花開き、数多くの仏像、仏画、仏教工芸品が伝わります。それらには各時代・地域の信仰、人々の祈りが託されています。会津の仏教文化とその祈りの形を、県博が収蔵する仏教美術を通してご紹介します。

華麗島・台湾―会津生まれの文化人・西川満が愛した台湾、繋いだ会津

7月22日(日)～8月19日(日) 場所:常設展部門展示室・歴史美術
会津若松市出身の小説家兼詩人の西川満(みつる)。2歳で台湾に渡り台湾で育った西川は、後に台湾文学界で大きな役割を果たしました。本展は国立台湾文学館(台湾・台南市)との共催により、台湾の魅力をご紹介します。

詩人が見つけたふくしま―吉増剛造が出会った会津、漆

10月27日(土)～12月9日(日) 場所:常設展部門展示室・歴史美術
詩人の吉増剛造氏は、「ふくしまうるし物語」執筆のために訪れた会津の奥深さに触れて、その後何度も足を運びました。詩人の心に、会津の自然が育んだ漆は、そしてふくしまの地はどう映ったのでしょうか。

けんぱくの宝2018―漆工芸名品選

12月22日(土)～2019年2月3日(日) 場所:常設展部門展示室・歴史美術
毎年恒例の「けんぱくの宝」展。今年度は、当館収蔵の漆工芸の名品をご紹介します。室町時代から現代までの、会津の漆文化の豊かさをご紹介します。

託されたおもい2018 寄贈・寄託の名品たち―会津漆器コレクション

2019年2月16日(土)～3月31日(日) 場所:常設展部門展示室・歴史美術
福島県立博物館には、多くの資料が寄贈・寄託されています。かつての所蔵者が大切に守り伝えてきた資料は福島の宝です。近年新たに寄贈・寄託された資料のうち、会津漆器や会津ゆかりの漆芸家による作品などを展示します。

うるわしのうるしのうつわ―土の中から―

8月4日(土)～2019年5月19日(日) 場所:常設展部門展示室・考古
縄文の昔から人々の暮らしの中に息づいてきた漆。国指定重要文化財に答申された三島町荒屋敷遺跡出土品(縄文晩期・当館寄託)をはじめ、人知れず土の中にももれていた、うつくしく輝く漆工芸品の数々をご紹介します。

■ 2018年度福島県立博物館利用案内

- 開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は火曜日)、祝日の翌日(土・日にあたる場合は開館)、ただし、5/1(火)・8/13(月)は開館。6/19(火)・12/11(火)は臨時休館日。12/28(金)～1/4(金)は年末年始休館日。

- 常設展観覧料
※一般・大学生は270円(20名様以上の団体の場合は210円)、高校生以下は無料でご覧いただけます。
※学校教育に基づく活動として観覧する場合の大学生および引率者、公民館等の団体は、事前の申請(観覧日の3日前まで)により、常設展料金の減免措置が受けられます。観覧料免除申請書は当館ホームページよりダウンロードできます。
※こどもの日5/5(土)、県民の日8/21(火)、敬老の日9/17(月)、文化の日11/3(土)は、すべての方の常設展観覧料が無料になります。

●企画展観覧料 ※()は20名様以上の団体料金

企画展名	企画展 匠のふるさと 会津	企画展 美しき 刃たち	企画展 戊辰戦争 150年	企画展 日本の わざと美	特集展 震災遺産を 考える
開催期間	4月28日(土) ～5月24日(日)	7月13日(金) ～19日(日)	9月1日(土) ～10月14日(日)	10月27日(土) ～12月21日(日)	2019年2月16日(土) ～4月11日(木)
一般・大学生	500(400)	800(640)	800(640)	800(640)	無 料
高校生以下	無 料	高校生600円 小中学生無料	無 料	無 料	無 料

●友の会のご案内

友の会は博物館の活動を支える人の集まりです。入会すると博物館の観覧料が優遇されたり、友の会会報・博物館だよりをはじめ、催し物の案内が送られるなどの特典が受けられます。ぜひご入会ください。

●交通案内 ■JR会津若松駅から約3km タクシーで約10分

会津若松駅 ■まちなか周遊バス「ハイカラさん」約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)
バスターミナル発 ■まちなか周遊バス「あかべえ」約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)



●お問い合わせ先

福島県立博物館 ～Fukushima Museum～

ホームページ <http://www.general-museum.fks.ed.jp/>
公式facebook <https://www.facebook.com/fukushimamuseum/>
メールアドレス general-museum@fcs.ed.jp
TEL 0242(28)6000 FAX 0242(28)5986
〒965-0807 会津若松市城東町1-25



福 島 県 立 博 物 館

平成30年度
催し物案内



Exhibitions and Events of
FUKUSHIMA MUSEUM on 2018

ミュージアムイベント

全て入場無料
詳細はホームページをご覧ください。

玄如節と日本の民謡 出演:玄如節顕彰会

6月23日(土)13:30～15:00 場所:エントランスホール
玄如節は民謡「会津磐梯山」の歌詞の元歌にもなっている会津の古い民謡です。毎年恒例、顕彰会の歌う玄如節をお聞きください。

けんぱく映画会

7月16日(月・祝)13:00～ 場所:講堂
博物館が1日だけの映画館に。歴史や美術にかかわりのあるたくさんの映画の中から、オススの一本を上映します。

会津磐梯山・市民盆踊り 共催:会津磐梯山盆踊り保存会

8月15日(水)19:00～20:30 場所:前庭
盆の中日、閉館後の博物館前広場で、会津磐梯山の音色に合わせて輪になって先祖を偲びつつ踊ります。

夏休みナイトミュージアム 要申込、定員80名

8月18日(土)17:30～18:30 場所:総合展示室
今年もやります。人気企画ナイトミュージアム!真暗な博物館を懐中電灯で探検!昼間は見えない何かが見えるかも?

[Coderanni]コンサート 出演:会津室内楽団アンサンブル[Coderanni]

9月17日(月・祝)13:30～15:00 場所:講堂
「Coderanni(こでらんに)」の皆さんによるコンサート。休日の昼下がり、楽器の音色を聴きながら楽しい時間を過ごしませんか。

クリスマスコンサート

12月16日(日)13:30～ 場所:エントランスホール
大人も子どもと一緒に楽しめるライブイベント。クリスマスのワクワク感を、音楽にのせてお届けします。

会津の彼岸獅子

3月10日(日)13:30～ 場所:エントランスホール
会津の春の風物詩。お彼岸の前に一足早く、会津の彼岸獅子が博物館に春を連れてきます。

匠のふるさと会津

—技と祈りの建築文化誌—

4月28日(土)～6月24日(日)



屋根葺き職人(菅野康二旧蔵写真)

福島県会津地方には曲屋の民家や職人秘伝の巻物、火難除けの呪物や儀礼など住まいに関する独特の文化が育まれてきました。職人の使う道具づくりの鍛冶技術も発展し、鋸鍛冶の中屋や刃物鍛冶の重房一門など名工を輩出しました。県内外で活躍した屋根葺きの会津茅手や、名建築を生み出した越後大工などの出稼ぎにより、多様な文化も伝えられています。本展覧会では職人の技術や交流、儀礼や信仰などを通じて会津の建築文化に迫ります。

美しき刃たち

—東京富士美術館と福島の名刀—

7月13日(金)～8月19日(日)



重要文化財「太刀 銘 一 (福岡一文字)」東京富士美術館蔵

近年、若い世代からも強い関心を集めている刀剣。本企画展では、東京富士美術館(東京都八王子市)のコレクションを中心に、平安・鎌倉時代から江戸時代までの刀剣の優品約30振りを展示し、刀剣の美・見どころ・変遷を分かりやすくご紹介します。

また、県内の資料館・博物館が収蔵する福島県ゆかりの刀剣、刀装具を紹介し、刀剣と福島県の関わりを掘り起こします。当館初の大規模な刀剣展、ぜひご覧ください。

戊辰戦争 150年

9月1日(土)～10月14日(日)



会津藩主松平容保(慶応元年) 奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵



戊辰戦争開戦から150年の節目に、主戦地となった福島県で改めて戊辰戦争の意義を問い直します。中でも会津藩は藩主松平容保が京都守護職として幕末の政局に身をおいたため、新政府軍の標的となり激しい攻撃にさらされました。勤王を自認する会津藩が何故朝敵とされたのか、急転する局面でいかに戦ったのか、実像に迫ります。また戦後にも光をあて、戦争を乗り越えた人々の姿をみつめます。本展覧会は新潟県立歴史博物館・当館・仙台市博物館の三館を巡回し、東北・新潟の視点から戊辰戦争を再考します。

日本のわざと美

—重要無形文化財とそれを支える人々—

10月27日(土)～12月2日(日)



増村益城<乾漆朱輪花盤> 昭和58年 文化庁蔵

文化庁や国立近代美術館等の所蔵品により「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の保持者や保持団体の作品と、その制作を支える用具・原材料の製作について紹介する展覧会。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙、截金(きりかね)、撥鏝(ぼちる)など多種多様な伝統工芸の優品と関連資料約200点を一堂に展示します。日本が誇る伝統工芸のわざと美をご堪能ください。主催:文化庁、福島県教育委員会、福島県立博物館

平成30年度 展示カレンダー

■ 考古 ■ 自然 ■ 歴史 ■ 民俗 ■ 美術

カテゴリ	場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成31年1月	2月	3月
企画展	企画展示室 (収蔵資料展示室)		匠のふるさと会津 4/28(土)～6/24(日)		美しき刃たち 7/13(金)～8/19(日)		戊辰戦争150年 9/1(土)～10/14(日)		日本のわざと美 10/27(土)～12/2(日)			震災遺産を考える 2/16(土)～4/11(木)	
テーマ展	部門展示室	歴史美術	祈りのふくしま2 4/28(土)～7/8(日)		華麗島・台湾 7/22(日)～8/19(日)		詩人が見つけたふくしま 10/27(土)～12/9(日)		けんぱくの宝2018 12/22(土)～2/3(日)		託されたおもい2018 2/16(土)～3/31(日)		
	考古	ふるさとの考古資料【楳葉町歴史資料館】 移動展 ～5/20(日)		うるわしのうるしのうつわ—土の中から— 8/4(土)～5/19(日)									
ポイント展	総合展示室	民俗	ドゥってどう使う?—魚とりの道具たち— 4/13(金)～6/20(水)		染型紙の世界 6/22(金)～8/29(水)		黒船来航を伝える農具 8/31(金)～10/24(水)		福島のごけし・東北のごけし 10/26(金)～12/12(水)		囲炉裏のまわりの道具たち 12/14(金)～2/28(木)		※展示替えのため休室 3/1(金)～3/31(日)
		中世	築城450年 会津の向羽黒山城はどんな城? 4/3(火)～9/30(日)										
	近世	日本遺産! 会津三十三観音と御詠歌 4/3(火)～3/31(日)											
	近現代	戊辰戦争ピックアップ1 —西郷頼母の戦略談— 4/3(火)～4/27(金)	戊辰戦争ピックアップ2 —磐城の戦い— 4/28(土)～6/1(金)	戊辰戦争ピックアップ3 —戦場のうわさ話— 6/2(土)～7/6(金)	戊辰戦争ピックアップ4 —会津の戦い— 7/7(土)～8/10(金)	戊辰戦争ピックアップ5 —若松城下の戦い— 8/11(土・祝)～9/14(金)	日本遺産! 安積疏水ができるまで 4/3(火)～3/31(日)						
展示ロビー									テーマ展 魚の化石展 10/27(土)～12/2(日)				
エントランスホール	ポイント展 ジオパーク関連展覧会 4/28(土)～6/3(日)				テーマ展 友の会化石・鉱物探検隊成果展 7/10(火)～8/19(日)								

*各展示の予定は都合により変更となる場合があります。詳しくは当館までお問い合わせください。

表紙写真【上】奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵【中央左】会津藩主松平容保【中央右】上様式の矢羽根 岩浅松石筆【下】十三代今泉今右衛門<色絵吹重珠樹草花文鉢>平成13年 文化庁蔵

震災遺産を考える

2019年

2月16日(土)～4月11日(木)



津波によって変形したパトカー
(富岡町)

「マリちゃん」着ぐるみ
(楳葉町)

平成23年、東日本大震災によって福島県沿岸部の日常は一変します。被災地では大規模な避難を免れなかったため、あたかも時間が止まったかのような日々が続きます。平成26年度から28年度にかけて、福島県立博物館を中心とするふくしま震災遺産保全プロジェクトでは、震災を記録する様々な無二の物証を収集してきました。本展覧会では、主にプロジェクト収集品を介して震災が福島県にもたらした出来事を考える機会とします。